

ISO TC215における病院内無線機使用に関するテクニカルレポートについて

(株) NTTドコモ

上林 真司

1. はじめに

国際標準化機構 (ISO : International Organization for Standardization) TC215(Technical Committee 215)(Health Informatics)において、病院内における無線機使用、医療機器との電磁干渉に関する勧告を、テクニカルレポート (TR) として作成すべく、準備が進んでいる。

本テクニカルレポートの概要とこれまでの経緯、今後の予定を紹介する。

2. 経緯と今後の予定

平成15年5月： ISO TC215会議において、病院内無線機使用に関する勧告について審議を進めることを合意

9月： エディタ (J.Morrissey) がドラフトを関連機関に送付し意見照会

平成16年2月： M.Reinolds(UK), J.Silberberg(US-FDA), M.Flood(Australia), M.Hietanen (Finland)等が意見提出

5月： ISO TC215会議において、WG2で審議を進めることを決定

6月： New Work Item Voting実施

9月： 本TRが審議される予定

3. テクニカルレポート概要

(1) Scope

- ・本TRは、医療施設内における移動無線通信及び計算機の配置、使用、管理に関するガイドラインを提供し、医療機器とのEMIによるハザードの可能性を低減させる。
- ・本TRでは、医師やスタッフによって使用される専用システムと、訪問者や患者によって使用される非専用（個人用）機器を分けて整理する。

(2) Mobile Wireless Equipment in Healthcare Facilities

- ・医療施設内の無線機の使用に関しては、IEC60601-1-2, EC Directive 93/42/EEC, ANSI, AAMI TIR18, IEEE COMAR, AMA, Oklahoma University EMC Center, Heath Council (蘭), MHRA, AHA, ASHE, JCAHO, US Army Center等が、規格、勧告を出している。
- ・これら規格、勧告の第一の目的は無線機器を医療業務使用したい医療機関にガイドを示すこと、第2の目的は非専用無線機器のEMIの可能性を避けるガイドを示すことである。

(3) Specific Recommendations

- ・専用機器：試験を実施すべき (IEEE/ANSI C63.18推奨)。管理手順を確立すべき (AAMI TIR18推奨)。
- ・非専用機器：専用機器とは別の管理ポリシーを適用すべき。試験・管理すべきだが、実際には全てのシステムについて試験することはできない。